

問 21 の自由回答に対し、計 384 件もの記載をいただきました。次期鳥取県男女共同参画計画の策定並びに今後の施策の参考とさせていただきます。ここでは紙面の都合上、数多く寄せられたものや異なる視点での御意見など、一部を要約のうえ掲載します。

問21 男女がともにいきいきと個性と能力を発揮していくために、あなたが日頃感じていらっしゃるがあれば、自由にお書きください。

1 男女共同参画と男女平等に関して（全 175 件のうち 18 件を紹介）

▶会社・地域において決定権など主導権を持っている方の考え方が、男女共同参画には消極的なのでは？女性に限らず、男性の主に年配の方々を啓発していくことが、女性が社会にもっと関わっていくために必要なことではないでしょうか。（40代 女性）

▶せっかく学校で学んだ現代的な考え方が、田舎に行くほど昔のままで、いまだに「おらの村は、おらの法律で長年やってきた」というのが多すぎて失望する。（50代 男性）

▶男女共同参画社会は一朝一夕でできるものではないので、無理矢理押しつけるのではなく、個々の意識改革、行政・地域などの理解・協力がなければ実現しません。

大きなことはできませんが、自分ができることから始めたいと思います。

（50代 女性）

▶それぞれが一個人として、自分の能力やスキルを発揮できるような働きかけを常に行っていく必要がある。周りも、性別に捕らわれた見方をするのではなく、それぞれを個人として受けとめる必要がある。（40代 男性）

▶男女で能力に差があるのは事実だと思う。劣っているとか優れているという意味ではなく、得意・不得意は身体や脳の構造が違う以上どうしようもないことなので、お互いに尊重し補いあっていたらいいのではないか？（20代 女性）

▶男と女では元々が違うものだから、お互いがそれを受け入れ認め合えば、様々なトラブルも起きないと思うし、それぞれの能力が発揮できるのではないか。（30代 女性）

▶家庭や社会の中で、今自分が一番しなくてはならないこと、したほうが良いことは何かを考えながら、その都度、役割分担をしていく方が自然だと思う。その人個人の考えを認めてあげることが、一番大切だと思う。（50代 女性）

▶私の年代だと、男性優位で育てられた感がありますので、意識改革には時間がかかり、無理矢理うわべだけで周りに合わせようとしている感があります。

平等とは何か、男女共同参画の「平等」とは何か、教育が重要かと。(40代 男性)

▶お互いに人間として尊重する気持ちを持って接すれば、何でもかんでも一緒に、といった間違った平等へとは進んでいかないはずです。(50代 女性)

▶男女平等を進める弊害として、少子、単身、晩婚化が進んでいるのではないだろうか。(30代 男性)

▶法律はまだまだ男性主体となっている点が、すべてのように思える。女性が一人で生きる社会には、なかなかならないと実感している。離婚すれば、夫が印鑑を押さない限り年金も五分五分にはならないなんて、不合理な話はない。(50代 女性)

▶女性も社会に出て働き、自分の能力を活かす場を持つことも大切。ただ、男に家事を押しつけたり、家にいたりするのを、女から強く言うのはしない方がいいと思う。女性には女性の、男性には男性の「らしさ」があるので、社会でも家庭でも男女が全て平等に同じ仕事をするのは、違っていると思う。(30代 女性)

▶どんなに素晴らしいパンフレットを作っても、職場では男性上司が、地域では古くからいる中高年の男性の意見がすべてで、女性には家庭・育児・仕事をこなしている力があることを認められず、男性優位な社会であり続けることを望んでいると思う。

男性優位な考えの人は、見ることも、聞くこともしないとします。(40代 女性)

▶男女平等を話し合うことがすでに差別していることだと思います。(30代 男性)

▶男性の「上から目線」な物言いや、女性の自分達が常識と思っている状態から「はみ出すことを許さず」な発想もやめてほしいと思う。いろいろな人がいろいろな考えで生きており、たとえ自分が肯定できない事柄でも全否定するのはどうかと思う。

自分以外の人間と関わる時、重要なのは「聞き取る力」と「妥協点を見いだす力」そして「分かりやすく話す能力」だと思う。現代人にもっとも不足しているもの、コミュニケーション能力と、自主自立の精神を養わなければ、鳥取の未来は暗いと思う。

(40代 女性)

▶時代とともに慣習を見直してもよいが、本来、男性なり女性がすべきことはやはり、その通りでやっていくことも必要。本人や地域が納得しているものまで、男女平等の名のもとに崩れていくのは問題だと思う。平等というのは、機会や能力の発揮を伴うにあたり、特に扱っていくことが本来のあり方ではないか。男性の意識はもとより女性も本気でその辺りを考えなければ、絵に描いた餅に過ぎないと思う。(40代 男性)

▶男女共同参画の意味の取り違いをしている人がいる。女性がお茶を入れると、それは男性にもさせるべきと言う人がいるが、おいしいお茶を入れてくれる女性がいれば、それはそれで良いと思う。女性じゃないと気付かない細やかな配慮、「男らしく」「女らしく」があっても大変良い。日本の恥の文化、らしさの文化も伝える必要もあるのでは。

男女共同参画を叫ぶ人が、一番勉強をして理解を深める必要があるのでは。あまりに肩の力を入れて物申す女性を見たことがあり、男女共同参画に少し嫌な感じを受けています。

(50代 女性)

▶職場も変化し、看護婦が看護師、保母から保育士など、名称の変化に戸惑った時期もありました。看護師に関しては、男性看護師から世話を受ける立場になった時、女性の方に変わっていただきたいとお願いしたこともあります。男性が女性から入浴等の世話を受けなくてはならない状況になっても、そこには母の影が存在し、許せるはずですが、男性が男性を、男性が女性をとなるとそうはいきません。

男女共同参画、私は何を叫び、何を求めようとされているのか、疑問を抱いています。

(50代 女性)

2 家庭での男女共同参画について（全42件のうち9件を紹介）

▶男性が家庭や地域のことを手伝えるよう、職場の環境を整えるべきです。女性を社会にとっても、それを手伝ってほしい夫が残業ではどうしても無理です。県をあげて「男性の家庭サービスデー」とでもしないと、個々の会社では特定の人に家庭サービスするゆとりを持たせることはできないのです。

女性に目を向けるなら、男性も同じように見ないといけません。（40代 女性）

▶社会に出て働くという選択肢と同じように、家において家事や育児に専念することも一つの仕事として認められる社会であってほしい。

保育園の先生などを見ていると、我が子を他人に預けて、自分は他人の子どもを保育するという状況に矛盾を感じる。（30代 女性）

▶男性の就労時間が長いため、結局、女性が仕事・家事・育児の全てをしなくてはならず、自分の時間が全くない。リフレッシュできず、疲労とイライラが溜まる。子どもが親を必要とするのは今だけだから、期間限定と思って頑張っているが、時々、自分は家政婦かと思う時もある。（30代 女性）

▶男性も子どもの頃から食事の用意ができるよう、家庭でしっかりと教えておくべきだと思います。夫はご飯も炊けず、私が帰ってくるのを待つばかり。でも、洗濯は彼の仕事。たため方に不満はあるけれど、感謝しています。（60代 女性）

▶女性が働きやすい社会になることが、幼い子ども達の人格形成に大きな影響を与えていることは事実だと感じます。家事・育児も大切な仕事なのだと実感できる情報提供もできると、おかしな世の中が少しでも更生できるのではないのでしょうか。

私は、男女共同参画、昔から大反対です。(40代 女性)

▶消防署や自衛隊などでさっそうとしている女の人を見ると良いなあと思います。そのような方がいつまでも働けるよう、子育て支援が一番だと思います。仕事のできる人こそ、家庭が温かい方がよいと思うのです。仕事が終わって帰った後、夫が優しいのが一番の理想なので、そのような世の中になるよう、思いやり教育もお願いしたいと思います。

(60代 女性)

▶仕事して家事をして子育てをして一生懸命何役もこなすのに、世の中はそんな母親を頑張っているとはいわず、母親なら当たり前と見ていませんか？男性には、同じように仕事をしている妻の手助けをしようとする人が、まだまだ少ないと思います。夫婦共働きの家庭では、育児も家事も半々でなくては、女は疲れてしまいます。(50代 女性)

▶男性も何の抵抗もなく家事や子育て・介護を大切に考えて、少しでも助けてもらえるともうれしいです。

親世代はすでに定年退職して何年も経ちますが、父親は家のことがなかなかわからずに依存して、でもカラ威張り。家族から疎まれがちになっています。(40代 女性)

▶配偶者の理解は変わりつつあるように思いますが、親世代の認識を変えていくことは難しいように思います。同居生活では、家庭生活の平穏のために我慢と犠牲・忍耐力かと感じています。(50代 女性)

3 地域での男女共同参画について（全9件のうち2件を紹介）

▶いくら仕事に追われているからと言って、町内の行事への不参加や関心がない人があまりにも多すぎると思います。子ども達の将来は大人的生活態度が大きく影響するものと思われます。近所づきあいも子どもの頃から学ばせたいものです。(60代 女性)

▶鳥取県は田舎なので、いまだに女性が家事などして当たり前という古い価値観や固定概念に捕らわれている。社会の変化に応じた考えを持っていなければ、誰かが犠牲になることになり、それが女性だとすれば、社会も発展しない。

もっと地域レベルで啓発活動を行っていかないと、女性の人生は重荷が大きく、制限されたものになってしまう。(30代 女性)

4 就労、働き方について（全44件のうち9件を紹介）

▶女性が社会の第一線で働いているのはごく一部で、経済的理由で働いている人がほとんどだと思う。家事・育児をこなしながらの仕事は、かなりストレスが溜まることであり、夫の協力はもちろんのこと、祖父母・地域の支援なしでは子育てしながらの労働は難しい。

いろいろと男女が平等に働けるようにとの案はあるようだが、ほとんどの人がそれだけでは苦勞なく仕事を続けることは難しく、結局女性は子育てを優先し、働ける時間だけ仕事をする場合が多くなることは避けられない。

子を持つ親の誰もが感じていることだと思う。（30代 女性）

▶企業に勤めていますが、もうすぐ退職します。結婚して産休を取ることができるにはできませんが、仕事はハードで、男性と同じ仕事をしているのに給料は男性より少なく、この先結婚して両立することに自信が持てないのが実情です。（30代 女性）

▶女性の負担が家事・育児・教育などでとても大きく、社会での能力発揮に至らない面が多々あると思います。諸外国と比べて、男性の家事・育児に関わる時間はおそろしく短く、子どもはほとんど女性に任されているのが現状です。

女性と男性の視点を合わせていくことが、県政をよりよいものにしていく力になると思います。そのためには男性の積極的な家事・育児参加や働く女性の支えとなるような柔軟な施策と、企業の子育てに対する理解と具体的な支援、それを支える県政の資金面での援助が必要だと思います。男性は特に、各職場での研修も欠かせないと思います。（40代 女性）

▶子どもの病気や介護などでは女性が休みを取る場合が多く、その場合職場の理解はまだ不十分で、この不景気で特にその傾向が強い。

まだまだ、経営者の理解は難しいと思われる。（40代 女性）

▶子育て世代の男性は、年齢的にも会社での仕事量の多いこともあり、家庭での育児・家事参加ができない現実があります。企業ももっと時間短縮など具体的な対策をしてほしい。

（30代 女性）

▶男性であろうが女性であろうが、同じ人間。周りの人が何と言おうと、我が家ではお互いが支えあい、助け合っていないと生活できません。

でもやはり、子どもが熱を出して仕事を休まないといけない時に、夫が「お前が休むべきだろ」という考えを持っていたり、夫の職場の人に「奥さんは何をしているんだ」といった考えがあり、仕事を休むのは母親の方がよいといった考え方があったのだと思いました。父親でも母親でも、休める方が休みを取ったらよいと思います。男はこうあるべきだ、女はこうあるべきだという認識は、根強く残っていると思います。（30代 女性）

▶結婚のため地元を離れ、新たに仕事を探そうと面接に行くと「子どもがいずれできますよね？」「子どもはいつと決めていますか？」「前に辞めた人は小さなお子さんが出て、保育

園からよく連絡が来て帰ってしまった」と言われました。保育園も待ちが多いと聞きますし、仕事先もこのように子育て・育児に協力的でないこの先が不安です。

私に面接をした、心ない言葉を言う人は男性の方でした。どれだけ女性が大変なのかを分かっていないと思う。(20代 女性)

▶不当な理由で、正式に辞令の出される前日に採用内示を変更されたことがある。口頭や文書でいくら男女共同参画といっても、結局はどうにもならないと諦めています。期待はしていません。(30代 女性)

▶小学校になるまでの子どもがいる家庭の親は、要望すれば、短縮勤務ができる制度の充実などが必要に感じます。個人が早く帰れるよう努力することも必要ですが、社会のバックアップが必要と思います。(30代 女性)

5 子育て、介護について（全25件のうち6件を紹介）

▶やはり基本は「男は外で働き、女は家を守る」ということ。家庭内での事件が起きるのは、昔ながらの部分の考えがずれて来ているからで、それが子どもに伝わり、恐ろしいことに発展しているような気がします。

女性に生まれた以上は、子どもをしっかり育てて、家庭を守る意識を持ちなさい。この意識を持って社会に出る人と、家にいたくないから社会に出るのとは大違いで、女は女の役割りがきちんとできた上で、社会での男女平等を考えるべきではないでしょうか。

(40代 女性)

▶社会の中で働く人中心の考え方でまわそうとする姿勢をいつも感じている。

子育てや介護、その期間仕事を辞めて関わる価値は充分にある。今まで社会を支えて下さった大切な方々、これからの社会を作っていく大切な子ども。

働くことは生きていくために必要だが、まわりの人を大切にすることもとても大切だと思う。そういう価値観を子どもに伝えたい。(30代 女性)

▶小さい子どもに対する親や祖父母の言葉を聞く限り、男女の役割が固定されて未来の可能性を狭めている地方だと思う。介護については家庭や親戚への期待が多めで、プロに任せるところは任せる、という切り分けが出来ていない。

全体的に個人の世界に閉じこもっていて、視野がせまい。(30代 女性)

▶子どもが少なくなったことが、結果的に様々な良くない状況を生み出しているように感じます。男女が協力して働いていくためにも、慣習や意識の改革はもちろんのこと、安心して子どもを産み、育てられる社会が実現されないといけないと思います。

(40代 男性)

▶昔から子どもを育てる役割は決まっています。父親は厳しく、母親は優しく子どもを包み込む。このバランスが崩れたために、子どもが曲がって育っているように思います。父親が怖くなるような家庭内のバランスはいかがなものか。父親が台所に立ち、洗濯物を干し家庭を守る生活は、バランスが悪いことだと思います。子どもを産むのは母親でなければできず、このことにすべての意味があるように思います。（40代 女性）

▶自営業なので主人が仕事を休むと収入に響きます。ファミサポなどもありますが、知らない他人に大事な子を預けるのは少し抵抗があり、利用していません。自営業でも少しでいいので、安心して時間を作れるようにできたらいいと思います。（30代 女性）

6 行政に対する意見と要望（全47件のうち8件を紹介）

▶女性が子どもをしっかり育てられる状況は最悪です。再就職しようと思っても保育園の受け皿はいっぱい、公立の保育園は空いていても0歳児の受入は少ないようです。もっとニーズにあった支援が求められているのではないのでしょうか。

保育園に預けることができない家庭の親子の不安や悩み等、地域で支えられるようなネットワークもどんどん作ってもらえたら助かるのではないかと思います。（50代 女性）

▶女性就業率が非常に高いのを踏まえて、女性への支援を具体的に進めるような施策を実施してください。（40代 女性）

▶子どもは社会全体で育てていくものだという観点で、女性が出産し、育児をしながら仕事を続けられるシステムを行政で作ってください。

社会の中で「役に立っている」ことは生きていく支えです。「役に立つ」ことが収入になり、一人ひとりが自立できる社会になるといいと思います。（50代 女性）

▶鳥取県は全体的に収入が少なく、女性の就労が縁の下の力持ちで家計を支えているけれど、現実には核家族で、子育てをしていく中でなかなか休みづらいです。少しずつ預けられる場所もできてきましたが、さらに良くなることを行政に望みます。（50代 女性）

▶女性が男性と同等の扱いにできるためには、女性特有の「子どもを産み、育てる」ことを一番に考え、この期間をどう取扱い、社会的にもどうすべきか考える必要がある。企業も長期間休まれている時には、男性に比べ評価も下げざるを得ない。この点を企業側が充分理解し、特別な配慮を行わなければ、いつまで経っても女性の立場は向上しない。

まず、県、市町村が率先して目に見える形で考え方・方向性を示して行くことが大事と考える。（50代 男性）

▶保育園が足りないのではないのでしょうか。第一希望の保育園はわずかの距離の所にあるのに、遠い第四希望の保育園に通っている状況です。（50代 男性）

▶地域のボランティアには公務員の参加が少ない。県民の生活を守り、個性と能力の発揮の推進を本当に考えているのであれば、週に一度くらいはボランティア活動をして、住民の中に入って身体で問題を考えてほしい。週休2日・年休のある公務員に、土日無し、その上地域で頑張る住民の気持ちは永遠に解らないのではないか。(50代 男性)

▶母子家庭に対する行政支援と同じものを男の場合もしてほしい。(40代 男性)

7 アンケート調査に関して(全6件のうち2件を紹介)

▶男女平等を進めていくことがいいことだ、という考えありきのアンケートであるような気がする。(30代 男性)

▶これを仮に集計して、上位から今後の対策を考えるなどということ自体がナンセンスで、多数・少数意見だから重要・不要なことは無いと考える。(50代 男性)

8 その他の意見(全36件のうち5件を紹介)

▶最近、自分が一番大切という人が多く、親や子どもを含め他人のことを思いやる気持ちが足りないように思います。これが今の時代一番欠けていると思います。(60代 女性)

▶戦争を知らない者、それに限らず若い方で、やたら高飛車な口調・態度で男性をこき下ろしたり、軽蔑し、あしらう態度の女性を悲しく思います。

やはり、女性史を学ぶことは大切だと思います。(60代 女性)

▶田舎に行けば行くほど案外地域の繋がりが薄い。このままでは男性・女性関係なく、地方は陰湿になるだけのような気がする。地域が活性化する企画が要ると思う。

(20代 男性)

▶適齢期を過ぎた独身男性が多い。何とか施策を考えないと未来がない。

(80代以上 男性)

▶身近にもDV被害を受けている人がいるが、逃げられないとひとり耐えています。助けたい。これからも増える一方でなくならないと思う。(30代 女性)